

モニタリング結果報告書

施設名 : おだわら諏訪の原公園

指定管理者 : 緑栄造園・日比谷アメニス共同事業体

施設所管課(事務所名) : 小田原土木事務所

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月9日	11月27日	月例報告書・日報・現場確認
11月	12月7日	12月25日	月例報告書・日報・現場確認
12月	1月7日	1月25日	月例報告書・日報・現場確認
1月	2月8日	2月25日	月例報告書・日報・現場確認
2月	3月8日	3月25日	月例報告書・日報・現場確認
3月	4月7日	4月20日	月例報告書・日報・現場確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- 緑の魅力あふれる公園づくり
 - 造園のグループのノウハウの発揮
- 活性化の基盤づくり
 - 公園を拠点としたコミュニティの創出・拡大
- 花と緑の名所づくり
 - 里山植物の名所づくり・花植え、果樹収穫の協働事業作り。
- パークセンターの機能、室内展示の充実
 - クラフトコーナーの無料解放、クイズ等の遊び要素の導入、写真コンテスト等利用者参加の促進を図る。

<実施状況>

- 地域雇用と、造園事業者のノウハウを入れた直営作業の推進により、管理水準以上の維持管理を実施し、質の高い緑の環境を提供した。
- 小田原市の生涯学習課や地域の青少年活動団体と協力し、交流活動や体験学習等、公園を利用の場として活動の創出と活性化を行った。
- 季節花の名所の広報と皇帝ダリア挿し穂の無料提供を実施。近隣幼稚園等と公園花壇の協働花植えを実施した。
- クラフトやぬり絵コーナーの無料開放実施と利用の拡大を行った。地域の方の協力による昆虫標本や植物の展示、職員による季節開催の展示や公園発生材を利用した昔遊びゲーム等の設置を行い来園者サービスを提供した。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	54,000	54,000	0	54,000	0
上半期計 (a)	28,353	28,353	0 (0)	28,594	△ 241
下半期計 (b)	25,647	25,647	0 (0)	25,433	214
10月	4,949	4,949		4,735	214
11月	3,884	3,884		4,317	△ 433
12月	3,975	3,975		3,707	268
1月	3,500	3,500		3,684	△ 184
2月	4,279	4,279		3,815	464
3月	5,060	5,060		5,175	△ 115
合計 (a+b)	54,000	54,000	0 (0)	54,027	△ 27

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	特になし	

- 収入の状況:定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況:車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況:積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	30,725人	19,188人	60.1%
下半期計 (b)	29,301人	22,904人	27.9%
10月	7,532人	4,924人	53.0%
11月	6,738人	4,546人	48.2%
12月	3,283人	2,688人	22.1%
1月	4,670人	3,265人	43.0%
2月	3,311人	3,649人	△9.3%
3月	3,767人	3,832人	△1.7%
合計 (a+b)	60,026人	42,092人	42.6%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 ・ホームページでの紹介、各種イベントの開催により、公園の認知度が向上し、利用者が増加した。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	15	8			18	41
11月	8	11			20	39
12月	17	10			11	38
1月	10	5			19	34
2月	14	4			10	28
3月	19	4			35	58

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ローラー滑り台はいつから使えるのか	整備状況を説明し、県からは、夏頃に使用できるようになる聞いている旨を説明
職員対応	・ ・	
事業内容	・サクラの咲く時期に施肥はやめて欲しい	平日に限定して作業は実施していたが、今後は時期を早めるよう改善する
その他	・ ・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none">公園を楽しんで利用してくれる方へのサービスと再利用を促進するため、登録制のネイチャークラブを立ち上げ、公園だよりの定期的発行と要望、意見の吸い上げによる公園利用の活性化をはかりたい。引き続き公園祭り等では昔遊びの体験を提供すると共に、季節や地域の歳時についてパークセンター等の飾り付けを行い来園者へのサービスを提供する。人気のある昔遊びの材料やクラフトは祭りイベント時以外でも希望する来園者への提供を計画する。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none">ホームページにより小イベントの紹介を行い、公園に人を集める努力を行っている。今後もいろいろ工夫して、公園利用者の増加に努力してもらいたい。